

課題と方向性

課 題	方 向 性
<ul style="list-style-type: none"> ・干潟・藻場・サンゴ礁等生物多様性保全上重要な浅海域の保全を一層推進すること。 ・その際、広域的なネットワークの視点を持って取り組むこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・干潟・藻場・サンゴ礁等、浅海域における保護地域の指定等を進めるとともに、海域保護区のあり方について制度面も含めて検討。 ・特に浅海域については、陸域との関係を踏まえた流域一体での取り組みや生息する種の移動等を考慮した広域的、国際的な取り組みなど国内外のネットワークを強化。 ・干潟、藻場、サンゴ礁等の再生は、各地の取り組みを通じた技術的知見を集積しつつ、さらに積極的に推進。
<ul style="list-style-type: none"> ・漁業対象種以外の海洋生物は、漁業資源における知見の蓄積に比べて情報面で立ち遅れ。沿岸・海洋域の生物多様性に係る総合的なデータ整備を推進すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当面、生物多様性保全上重要な浅海域について、関係各省間の情報交換を図り、生物・生態系に係るデータの充実に推進。 ・浅海域以外の海洋における総合的なデータ整備については、効果的・効率的な手法のあり方を含めて検討。